

あとがき

『増田友也の建築世界』(2023年12月刊)が当初の出版予定から大幅に遅れたことにより、これに続く『建築論研究』第3号の発刊も2年近く遅れることになったが、ご覧いただいたように内容はとても充実したものに仕上がった。執筆者のみなさまと、手にくださった読者のみなさまに深く感謝したい。

終わりに、最晩年の森田慶一が、亡き愛弟子・増田友也について語った言葉を紹介して、建築論の京都学派をめぐる今後の研究進展を期待するものである。

(増田君の存在論的建築論は)あまり難しいんで分からんけれども、作品はね、僕は非常に健全な日本の建築家の作品として、これからも深めて欲しいような、そういう作風を残してくれたんじゃないでしょうか……僕は増田君の作品を評価したいなあー、いいですよ。

「故森田慶一氏に聞く」『建築家』(日本建築家協会)第39号 1983年

(文責 市川秀和)